

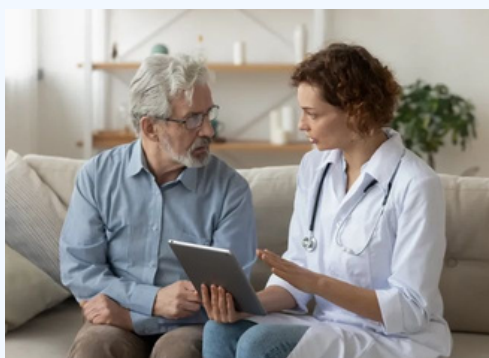
アイトラッキングとAI

アイトラッキングは、人が何に注意を向け、どのように判断しているかといった認知状態や意図を可視化します。これらの情報をAIと組み合わせることで、AIは人の状態を理解したうえで状況をより正確に捉え、適切な判断や支援を行うことが可能になります。

学びを理解するAI

アイトラッキングは、学習者の状態を可視化できます。教材に対する視線の動きから、集中が高まる瞬間や、理解が止まる場面、支援が必要なタイミングをAIが認識できるようになります。

これにより、個人に最適化された学習体験が生まれ、学習への自信を育み、すべての学習者に公平な成長の機会を提供します。



医療診断を進化させるAI

アイトラッキングは認知機能や神経系の状態を捉える新たな手段として医療分野でも活用が進んでいます。

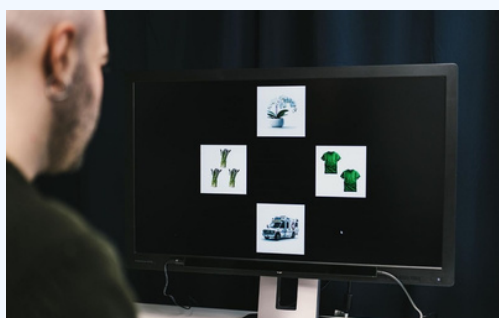
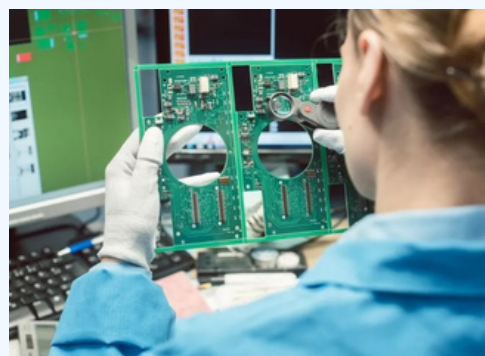
AIと組み合わせることで、微細な眼球運動を意味のある臨床データへと変換し、早期発見や診断精度の向上に貢献します。

パーキンソン病、視覚障害、めまい、メンタルヘルス評価など様々な領域で医療従事者の意思決定を支援し患者にとってより安心できる医療体験を実現します。

熟練技能を理解するAI

日本の製造業では、熟練者の経験や判断に支えられた高い品質が競争力の源泉となってきました。しかし、その多くは暗黙知として個人に依存しデジタル化やAI活用が難しい領域でもあります。熟練者がどこを見てどのように判断しているのかといった暗黙知は視線データに現れます。

このデータをAIに活用することで、現場の判断を支援しながら品質と人材のばらつきを抑え、段階的に実行・代替へと展開できるDX基盤を構築します。



TobiiのアイトラッカーとTobii Pro ラボは、人の行動、人がどこを見ているのか、実際に何を見ているのかを分析するために使用されます。